

原 著

歯科インプラント治療に関する患者の治療満足度と心境変化

三条総合病院、歯科口腔外科；歯科衛生士¹⁾、医療事務²⁾、歯科医師³⁾
新潟大学医歯学総合病院、インプラント治療部；歯科医師⁴⁾

金子ゆかり¹⁾、猪俣 真弓¹⁾、吉澤 佑梨¹⁾、松永ひろ江²⁾、
小川 信⁴⁾、中山 雄二³⁾、星名 秀行⁴⁾

目的：歯科インプラント治療を受けた患者の満足度調査から、医療スタッフの業務のあり方を再検討し、患者のQOLと満足度の向上に繋げる。

方法：三条総合病院の歯科インプラント外来において、インプラント治療及び継続管理を行った患者22名に対し、治療の満足度や期待度に関する13項目の設問について、無記名によるアンケート調査を実施した。

成績：満足度の調査をすることにより、患者の不満や要望を把握することができ、心境の変化を調査することにより、診療が進むごとに期待度が向上していくことが分かった。

結論：歯科インプラント治療の結果は、客観的な数値評価として示すことが困難な点があり、咀嚼、発音、嚥下、及び審美性等の機能回復について、患者の主観的な評価による要素が多い。アンケートでは、多くの項目で「満足である」という結果であったが、「時間を要する」との回答もみられた。このため、患者と術者及び医療スタッフとのコミュニケーションを図り、信頼関係を築いていくことが重要となる。

キーワード：歯科インプラント治療、患者満足度、咀嚼・嚥下、審美、機能回復

緒 言

三条総合病院では、2007年より新潟大学医歯学総合病院インプラント治療部の協力を受け、月1回の歯科インプラント診療を行っている。歯科インプラント治療とは、失った歯の部分にチタン製の人工歯根を埋入することにより、咀嚼、発音、嚥下及び審美性の回復を図るものである。この治療法は、外科的手術を伴い、他の治療法と比較してカウンセリング、診査、診断及びメンテナンス等が長期間となる上、保険外の自費診療の扱いとなる。このため、医療スタッフは、患者とのコミュニケーションを図り、信頼関係を築くことが重要であると考え、アンケートによる患者視点からの満足度調査を検討した。

対 象 と 方 法

1) 対象

2007年9月から2015年10月までの期間に、三条総合病院でインプラント治療を行い、2015年4月時点でメインテナンスを継続中の患者22名（男性5名、女性17名）、平均年齢60.7歳（35～82歳）を対象とした。治療内容は、固定性冠ブリッジ患者21名、可撤性インプラント支持義歯1名であった。なお、結果22名55本のインプラントの治療成績については、1本は脱落したが、再埋入を行ったので治療成功率は100%であった。

2) 方法

2015年4月から10月の期間の受診時にアンケート調査表を配布し、無記名による回答を依頼した。内容は、満足度として治療計画の説明、治療期間、治療環境、インプラント手術、インプラント上部構造、メインテナンス、医師・歯科衛生士の対応、咀嚼の機能性、インプラントの審美性及び総合的満足度について、また、心境の変化として受診前の心境、受診後の心境及び治療後の心境についての設問とした。

結 果

アンケートの回収者数は21名で、回収率は95.4%であった。

1) 満足度について

各設問の平均満足度（満足及びほぼ満足）は96.2%と比較的良好な結果が得られた。自由記載の内容では、説明が分かりやすく丁寧だった、明るいスタッフで話し易くリラックスして治療を受けられた、しっかり違和感なく食べられるようになった、定期的なメインテナンスで安心できたなど、良好なコミュニケーションからくる回答が多くみられた。一方、不満を訴える患者も3.8%みられ、その理由は、治療期間の長さや診察日の制限、手術中の痛み等であった。

① 治療計画の説明

満足19名（90.5%） ほぼ満足2名（9.5%）
やや不満0名（0.0%） 不満0名（0.0%）

② 治療期間

満足6名（28.6%） ほぼ満足10名（47.6%）
やや不満5名（23.8%） 不満0名（0.0%）

- ③ 治療環境
満足13名 (61.9%) ほぼ満足 7 名 (33.3%)
やや不満 1 名 (4.7%) 不満 0 名 (0.0%)
- ④ インプラント手術
満足14名 (66.7%) ほぼ満足 6 名 (28.6%)
やや不満 1 名 (4.7%) 不満 0 名 (0.0%)
- ⑤ インプラント上部構造
満足15名 (71.4%) ほぼ満足 6 名 (28.6%)
やや不満 0 名 (0.0%) 不満 0 名 (0.0%)
- ⑥ メインテナンス
満足12名 (57.1%) ほぼ満足 8 名 (38.1%)
やや不満 1 名 (4.7%) 不満 0 名 (0.0%)
- ⑦ 医師、歯科衛生士の対応
満足18名 (85.7%) ほぼ満足 3 名 (14.3%)
やや不満 0 名 (0.0%) 不満 0 名 (0.0%)
- ⑧ 咀嚼の機能性
満足20名 (95.2%) ほぼ満足 1 名 (4.8%)
やや不満 0 名 (0.0%) 不満 0 名 (0.0%)
- ⑨ インプラントの審美性
満足18名 (85.7%) ほぼ満足 3 名 (14.3%)
やや不満 0 名 (0.0%) 不満 0 名 (0.0%)
- ⑩ 総合的満足度
満足15名 (71.4%) ほぼ満足 6 名 (28.6%)
やや不満 0 名 (0.0%) 不満 0 名 (0.0%)
- 2) 心境の変化について
受診前の不安を抱く患者 (不安及びとても不安) は52.4%みられ、その内容は、手術の後遺症、満足できるものが入るのか等であった。しかし、受診後では19.0%に、治療後では4.7%に減少しており、期待が高まっていた。なお、治療後の不安としては、いつまで維持できるか、保存できなくなった時の処置方法等があげられた。
- ⑪ 受診前の心境
非常に期待 5 名 (23.8%) 期待 5 名 (23.8%)
不安 8 名 (38.1%) とても不安 3 名 (14.3%)
- ⑫ 受診後の心境
非常に期待 6 名 (28.6%) 期待11名 (52.4%)
不安 4 名 (19.0%) とても不安 0 名 (0.0%)
- ⑬ 治療後の心境
非常に期待 9 名 (42.9%) 期待11名 (52.4%)
不安 1 名 (4.8%) とても不安 0 名 (0.0%)

考 察

歯科インプラント治療は時に骨移植を伴い、またインプラントと骨の integration (結合) にも治療期間がかかるなど、長期間にわたる自費診療となるため、われわれ医療スタッフと患者との思いが一致しないことも危惧される。しかし、今回、アンケートにより患者の主観的な評価を把握したところ、高い満足度が得られていることが分かった。

メインテナンスについては、6 か月毎のメインテナンスでも頻繁だという患者も少しみられたが、短いサイクルで診てもらうことに安心を抱く患者が大多数を占めた。これは、インプラントは人工歯根という認識を持ち、メインテナンスの重要性を十分理解しているためと思われる。また、頻繁な受診により、その都度「経過良好」の説明を得ることで、安心感にも繋がっているものと考えられる。

心境の変化では、受診前から受診後、さらに治療後と経過するにつれて期待度が高まったことは、受診時の説明により安心感を得られ、治療後には、自分の歯のように咬めるようになったことや、義歯が不要となったという実感が期待度として現れたものと思われる。

結 語

今回のアンケート調査では、治療の満足度や心境の面において、おおむね良好な結果が得られていることが分かった。しかしながら、今後のセルフケアやインプラント周囲炎への不安を抱えている人も一部でみられた。このため、今後のメインテナンスにおいては、患者の不安等を傾聴してメンタル面をフォローするとともに、より丁寧な説明や助言を心がけていくことが求められると考えられた。

文 献

1. 矢島安朝、松崎文頼、関根秀志、藤関雅嗣、牧野寛. メインテナンスの基本, インプラント治療に取り組むための Q&A. 歯界展望別冊「はじめてのインプラント治療」. 東京: 医歯薬出版, 2008; 136-151頁.
2. 木津康博. インプラント治療における全身管理. 東京: デンタルダイヤモンド, 2014; 39: 24-33 頁.
3. 依田泰. 患者の年齢を考慮した臨床メリット. 長寿社会における「義歯とインプラントの共存」を考える. 東京: デンタルダイヤモンド, 2015; 40: 32-35頁.
4. 坪井陽一監修. 患者さんのためのインプラント Q & A. 東京: クインテッセンス出版, 2014; 1-75 頁.

英 文 抄 録

Original article

The questionnaire survey of the satisfaction with our dental implant treatment

Sanjo General Hospital, Dentistry; dental hygienist¹⁾, medical office clerk²⁾, dentist³⁾, Niigata University, implant dentistry⁴⁾
Yukari Kaneko¹⁾, Mayumi Inomata¹⁾, Yuri Yoshizawa¹⁾, Hiroe Matsunaga²⁾, Shin Ogawa⁴⁾, Yuji Nakayama³⁾, Hideyuki Hoshina⁴⁾

Objective: We tried to investigate the satisfaction with implant treatment among patients to improve our medical enforcement and dealing. i

Study design: For 22 patients performed implant treatment and followed up in our dental implant section, the unsigned questionnaire survey with 13 questions was done about their satisfaction.

Results : The questionnaire survey showed that most patients were satisfied the implant treatment. It was noted to take time as a demerit.

Discussion : It was important to communicate well with patients to establish the mutual trust relationship.

Key words : teeth, implant, satisfaction with treatment, change of feeling, chewing and swallowing, aesthetic, functional recovery, questionnaire survey

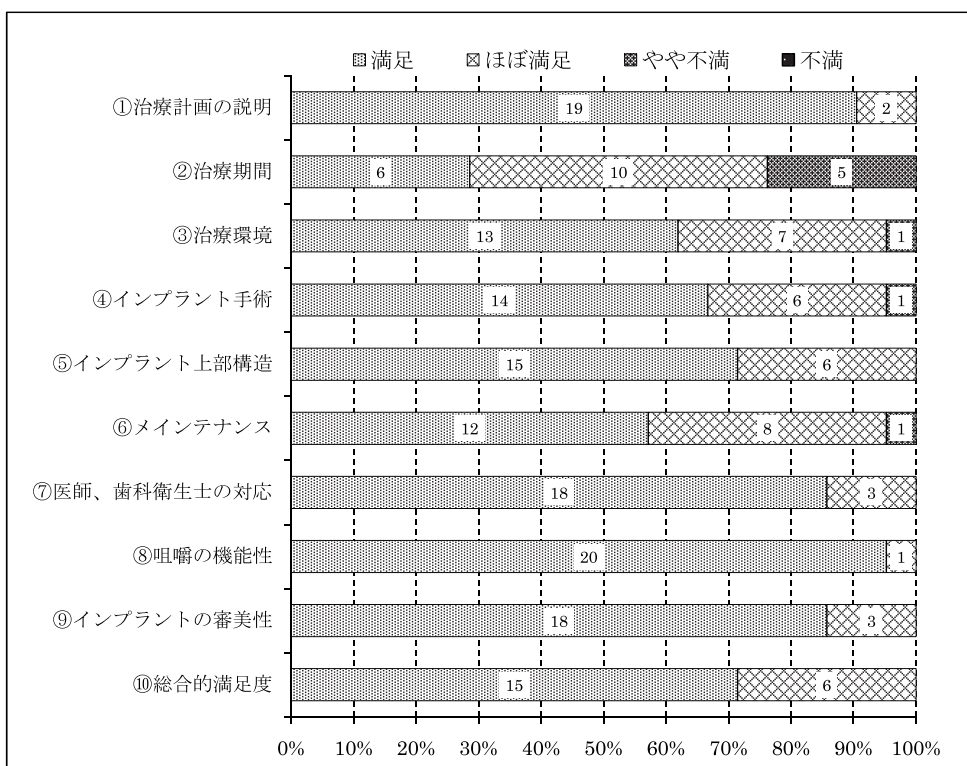


図1 歯科インプラント治療における満足度に関するアンケート結果
治療期間の長さや診療日の制限についての不満もみられたが、総合的満足度では全員から満足及びほぼ満足という回答を得た。

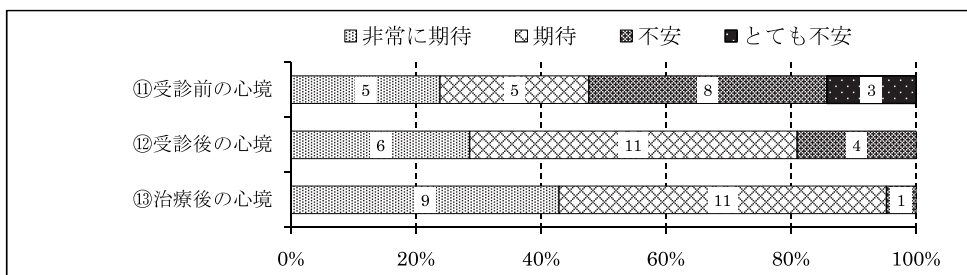


図2 心境の変化に関するアンケート結果
診療が進むごとに期待度が向上していた。

(2015/11/30受付)